

アプリを管理する

インストールされたアプリを表示したり、設定を調整したりできます。

提供元不明のアプリのダウンロード

提供元不明のアプリをダウンロードする前に、本製品の設定でダウンロードを許可する必要があります。
ダウンロードするアプリは発行元が不明な場合もあります。お使いの本製品と個人データを保護するため、Google Playなどの信頼できる発行元からのアプリのみダウンロードしてください。

- 1 アプリ一覧→[設定]→[セキュリティ]→[提供元不明のアプリ]を選択
- 2 注意文を確認→[OK]

インストールされたアプリを削除する

インストールされたアプリを削除する前に、アプリ内に保存されているデータも含めて、そのアプリに関連する保存しておきたいコンテンツはすべてバックアップしてください。
• アプリによっては削除できないものもあります。

- 1 アプリ一覧→[設定]→[アプリ]
アプリ管理画面が表示されます。
- 2 「ダウンロード済み」タブをタップ→削除するアプリをタップ
- 3 [アンインストール]
- 4 [OK]

memo

- ◎ Google Playからダウンロード、インストールしたアプリはすべてアンインストールすることができます。
- ◎ アプリ内に保存されているデータを消去する場合は、アプリ管理画面→データを消去するアプリをタップ→[データを消去]→[OK]と操作します。
- ◎ アプリのキャッシュを消去する場合は、アプリ管理画面→キャッシュを消去するアプリをタップ→[キャッシュを消去]と操作します。
- ◎ アプリを強制終了／無効にする場合は、アプリ管理画面→強制終了／無効にするアプリをタップ→[強制停止]／[無効にする]→[OK]と操作します。アプリ一覧に表示されているアプリを無効にすると、アプリ一覧に表示されなくなりますので、ご注意ください。

ダウンロードしたアプリを表示する

- 1 アプリ管理画面→[ダウンロード済み]タブをタップ
ダウンロードしたアプリの一覧が表示されます。
• 「すべて」タブをタップするとすべてのアプリの一覧が表示されます。
- 2 確認するアプリをタップ

memo

- ◎ 「auスマートパスを利用する」(▶P.71)の[アプリ]→[マイアプリ]からも、ダウンロードしたアプリを表示できます。

YouTube

Googleが提供するオンライン動画ストリーミングサービス「YouTube」を利用して、動画の再生や、キーワード入力による動画検索、カテゴリー別表示、撮影した動画のアップロードができます。

YouTubeを利用する

- 1 アプリ一覧→[YouTube]
利用規約が表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- 2 再生する動画を選択

memo

- ◎ 動画をアップロードするには、YouTubeへのログインが必要になります。あらかじめGoogleアカウントを取得してください。
- ◎ YouTubeの詳細については、YouTube画面→[ヘルプ]と操作してご確認ください。

Facebookを利用する

Facebookを利用して、メッセージの投稿や閲覧などができます。

- Facebookの利用方法などの詳細については、Facebookのホームページをご参照ください。
<http://www.facebook.com/>

- 1 アプリ一覧→[Facebook]
- 2 電話番号またはメールアドレスを入力→パスワードを入力→[ログイン]
アカウントをお持ちではない場合は「Facebookに登録」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。

Friends Noteを利用する

Friends Noteは、au携帯電話からのアドレス帳移行やサーバーへのバックアップもできる安心・便利なアドレス帳です。また、Facebook・TwitterなどのSNSの友人をアドレス帳で一元管理できます。

- Friends Noteを利用するには、au IDが必要になります。au IDの設定方法については、「au IDを設定する」(▶P.20)をご参照ください。

- 1 アプリ一覧→[Friends Note]
初めて起動したときはFriends Noteの紹介画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

Googleサービス

ハンガアウトやマップ、カレンダーなどGoogleが提供するアプリを利用することができます。

ハンガアウトを利用する

ハンガアウトは、Googleのインスタントメッセージサービスです。
ハンガアウトを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。
• ハンガアウトの利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。

ハンガアウトにログインする

すでにGoogleアカウントを設定している場合は、ログインなしでご利用になれます。

- 1 アプリ一覧→[ハンガアウト]
Googleアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

memo

- ◎ ハンガアウトの詳細については、ハンガアウトの画面→[ヘルプ]と操作して確認してください。

Googleマップを利用する

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。Googleマップを起動すると、近くの基地局からの情報によって、おおよその現在地が表示されます。GPS受信機が現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

• Googleマップの利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。

1 アプリ一覧→[マップ]

Googleマップ画面が表示されます。
メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

memo

- Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などを行うには、あらかじめデータ通信 / GPS機能を有効にする必要があります。
- 指定のACアダプタ、microUSBケーブル01 (別売)、ワイヤレス充電台01 (別売) による充電中は、電流による磁気の影響し、地磁気センサーが正常に動作しないことがあります。ケーブル類やワイヤレス充電台01 (別売) から外してご使用ください。
- 方位計は、地球の微小な磁場を感知して方位を算出しています。以下の場所では、計測の障害になったり、誤差が大きく発生したりする場合がありますので、それらが無い場所に移動してから計測してください。
 - 建物(特に鉄筋コンクリート造り)、大きな金属の物体(電車、自動車)、高圧線、架線など、金属(鉄製の机、ロッカーなど)、家庭電化製品(テレビ、パソコン、スピーカーなど)、永久磁気(磁気ネックレスなど)
- 地磁気の弱い場所では方位計測に影響する場合があります。
- 以下の場合は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがあります。
 - 方位計の起動直後や、本製品を強い磁気に近づけた場合
 - 急激な温度変化を伴う環境に長時間置いた場合
 - 本製品が磁気を帯びた場合
- Googleにより最新のサービス、機能が提供される場合があります。

ストリートビューを表示する

地図から実際の景色を表示できます。

1 Googleマップ画面→表示する地点をロングタッチ

2 地点情報をタップ→[ストリートビュー]

ストリートビュー画面が表示されます。

興味のある場所を検索する

1 Googleマップ画面→キーワード入力欄に検索する場所を入力

2 [🔍]

検索した場所が表示されます。
地点情報をタップすると、検索した場所の詳細情報が表示されます。

周辺のスポットを確認する

1 Googleマップ画面→キーワード入力欄をタップ

2 カテゴリーをタップ

マップ画面に「📍」が表示され、画面下部に検索した場所の名前などの地点情報が表示されます。
• 「周辺のスポット」の場合は検索結果一覧が表示されます。目的の情報をタップするとマップ画面に「📍」が表示されます。画面上部の「周辺のスポット」をタップすると、検索結果一覧に戻ります。

道案内を取得する

Googleマップを利用して、目的地への詳しい道案内を取得できます。

1 Googleマップ画面→[Y]

2 [🚗] (車) / [🚶] (公共交通機関) / [🚶] (徒歩)

3 「目的地を入力...」に目的地を入力→[📍]

経路の一覧が表示されます。画面上部には出発地・目的地の情報、画面下部には経路情報が表示されます。
• 「現在地」をタップすると、出発地を入力できます。
• 「↑↓」をタップすると、現在地と目的地を入れ替えることができます。
• 移動方法や経路などを変更する場合は、画面上部の出発地・目的地の情報をタップし、経路の候補一覧を表示してください。必要に応じて「出発時刻」や「オプション」、「経路オプション」をタップして、日付と時刻の編集や経路オプションを変更することもできます。

4 道案内を取得する

目的地への道案内が表示されます。
• 移動方法に車または徒歩を選択した場合は、画面下部の「ナビ開始」をタップすると道案内が開始されます。画面下部の経路情報をタップすると、経路を文字情報で確認できます。
• 移動方法に公共交通機関を選択した場合は、画面下部の経路情報をタップすると経路を確認できます。

カレンダーを利用する

カレンダーを1日、1週間、1ヶ月で表示することができます。

- カレンダーの利用にはExchangeアカウント / Googleアカウントのいずれかが必要です。初回利用時にはGoogleアカウント設定画面が表示されます。アカウント未設定時には、アカウント追加画面が表示され、Exchangeアカウントの場合は「Microsoft Exchange ActiveSync」、Googleアカウントの場合は「Google」を選択します。Exchangeアカウントの設定については、画面の指示に従って操作してください。Googleアカウントの設定については、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。
- 「アカウントと同期」を利用して、サーバーに保存されたカレンダーと本製品のカレンダーを同期できます。

1 アプリ一覧→[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。

memo

- カレンダー画面左上部の書をタップ→[日] / [週] / [月] / [予定リスト]と操作すると、カレンダーの表示を1日表示 / 1週間表示 / 1ヶ月表示 / 予定リストに切り替えることができます。
- カレンダー画面で「🔍」をタップすると、イベントやタスクを検索できます。

予定を新規登録する

1 カレンダー画面→[+]

新規作成画面が表示されます。

2 [イベント] / [タスク]

📅	予定の色を選択します。
カレンダー名 / アカウント名	複数のカレンダーを設定している場合、予定を登録するカレンダーを選択します。
タイトル / タスク名	予定のタイトル / タスク名を入力します。
場所	イベントの場所を入力します。
開始	イベントの開始日時と終了日時を設定します。
終了	• 終了日時は開始日時より前には設定できません。
終日	イベントを終日に設定します。
日本標準時(タイムゾーン)	タイムゾーンを設定します。
ゲスト	登録するイベントに招待する人のメールアドレスを入力します。 • 「,」で区切って、複数入力できます。 • イベントの登録が完了すると、入力した宛先にイベントデータを添付したメールが送信されます。
説明	予定の内容などを入力します。
期限	タスクの期限を設定します。
期限なし	タスクを期限なしに設定します。
繰り返し	予定の繰り返しを指定します。
通知	イベント開始日時からどのくらい前に通知するかを設定します。メールで通知を行うことも可能です。 • 「通知を追加」 / 「X」をタップすると、通知を追加 / 削除できます。不要な通知は削除してください。
リマインダ	タスクの期限を通知する日時を設定します。
優先度	タスクの優先度を設定します。
外部向け表示	外部にイベントの有無を公開します。
公開設定	イベントを外部に公開するか設定します。

4 [完了]

memo

- カレンダー画面で予定を追加したい日時の欄をロングタッチして、新しい予定を追加することもできます。

カレンダーを設定する

カレンダーの表示、通知方法、通知音、バイブレーションなどを設定します。

1 カレンダー画面→[⚙️]→[設定]→[全般設定]

2 変更する項目を選択

カレンダーのメニューを利用する

1 カレンダー画面→[⋮]

更新	同期しているカレンダーを更新します。
表示するカレンダー	同期しているカレンダーから表示するカレンダーを選択します。
設定	▶P.65「カレンダーを設定する」

時計を利用する

アラーム、時計、タイマー、ストップウォッチ機能が利用できます。

アラームを利用する

指定した時刻をアラーム音や時刻の読み上げ、バイブレータでお知らせできます。

1 アプリ一覧→[時計]→[アラーム]

アラーム一覧画面が表示されます。

2 [アラームの設定]→時刻を選択→[完了]

アラームの時刻の右側にある[ON]/[OFF]を操作するとアラームのオン/オフが切り替わります。

アラームを編集する

1 アラーム一覧画面→編集するアラームの[■]をタップ

2	時刻	アラームの時刻を編集します。
	ラベルを追加	名称を設定します。
	繰り返し	アラームの繰り返しを曜日で指定します。
	アラーム音	アラーム音を設定します。
	バイブレーション	アラーム音と同時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
	☐ ON ☐ OFF	アラームのオン/オフを設定します。
		アラームを削除します。



memo

- アラーム一覧画面→[その他のオプション]と操作すると、夜間モードの設定や、アラーム鳴動時の消音までの時間、スヌーズの長さ、アラームの音量などの設定が行えます。
- アラームを設定した時刻になると、アラーム音や時刻の読み上げ、バイブレータが設定時間の間鳴動し、ラベルの内容が表示されます。
- アラーム音量が1以上に設定されていて、通話中にアラームが起動した場合、受話部(レシーバー)からアラームを知らせる割込音が鳴ります。
- アラームを停止する場合は、「停止」または「スヌーズ」アイコンをスライドします。
- 電源が入っていない場合は、アラームは鳴りません。
- 日本以外のタイムゾーンが設定されていて、アラームの繰り返しが平日に設定されている場合は、日本の祝休日でもアラームは鳴動します。

時計を表示する

1 アプリ一覧→[時計]→[時計]

時計表示画面が表示されます。



memo

- 時計表示画面→[その他のオプション]と操作すると、夜間モードの設定や、時刻の表示スタイル、自宅タイムゾーンなどの設定が行えます。

世界時計を表示する

1 時計表示画面→[世界時計]

世界時計一覧画面が表示されます。

2 表示したい都市をタップ→

時計表示画面に、選択した都市の世界時計が表示されます。



memo

- 世界時計一覧画面で「」をタップすると、並び順の変更や各種設定が行えます。

タイマーを利用する

指定した時間をタイマー音でお知らせできます。

1 アプリ一覧→[時計]→[タイマー]

タイマー設定画面が表示されます。

タイマーを設定している場合は、設定済みのタイマーが表示されます。

- ・「開始」をタップすると設定済みのタイマーが開始されます。

2 時間を入力→[開始]

タイマー画面が表示され、カウントダウンが始まります。カウントダウンが終了すると、タイマー音が鳴ります。「停止」をタップするとタイマー音は止まります。また、タイマーを途中で停止する場合も「停止」をタップします。「開始」をタップするとカウントダウンを再開します。「リセット」をタップするとカウントダウンをリセットします。

- ・「ラベルを追加」をタップすると、ラベルを設定できます。
- ・「+1分」をタップすると、カウントダウン中の時間を1分ずつ増やすことができます。
- ・「削除」をタップすると、タイマーを削除できます。
- ・「タイマーを追加」をタップすると、タイマーを追加できます。

ストップウォッチを利用する

1 アプリ一覧→[時計]→[ストップウォッチ]

ストップウォッチ画面が表示されます。

2 「開始」

時間計測が始まります。



memo

- 計測を停止する場合は、「停止」をタップします。「リセット」をタップすると、計測をリセットします。「共有」をタップすると、計測時間をBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。
- ラップタイムを計測する場合は、「Lap」をタップします。

Keepを利用する

Keepを利用するとメモをかんたんにすばやく作成できます。

- ・ Keepの利用にはGoogleアカウントが必要です。初回利用時にはGoogleアカウント設定画面が表示されます。アカウント未設定時には、アカウント追加画面が表示されます。Googleアカウントの設定については、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。

メモを追加する

1 アプリ一覧→[Keep]

メモ一覧画面が表示されます。

2 [メモを追加]→メモを入力→[完了]

メモを確認／編集する

1 メモ一覧画面→メモをタップ

メモ画面が開きます。

- ・ 作成したメモをタップし、メモ記載欄をタップすると「タイトル」が表示され、タイトルを入力できます。
- ・ メモを編集後に「」をタップすると編集した内容で保存します。

メモを削除する

1 メモ一覧画面→メモをロングタッチ

2 [■]→[削除]

メモが削除されます。削除されたメモは「ゴミ箱」に移動します。

- ・ メモ画面→[■]→[削除]と操作しても削除できます。



memo

- メモ一覧画面→「」→「ゴミ箱」と操作すると削除したメモを表示できます。削除したメモを元に戻すにはゴミ箱内のメモをロングタッチ→「」と操作します。
- ゴミ箱内のメモは7日後に自動的に削除されます。

電卓を利用する

1 アプリ一覧→[電卓]

電卓画面が表示されます。

「削除」:最後に入力した数字／記号を消去します。ロングタッチすると入力した内容をすべて消去できます。

「消去」:計算結果を消去します。



memo

- 数値や数式、計算結果をロングタッチ→「切り取り」／「コピー」／「貼り付け」と操作すると、切り取り／コピー／貼り付けができます。
- 電卓画面→「」→「関数機能」と操作すると、関数電卓表示となります。

音声レコーダーを利用する

- 1 アプリ一覧→[音声レコーダー]
音声レコーダー画面が表示されます。
- 2 [■]
録音が始まります。
- 3 [■]
録音を停止し、録音した音声は保存されます。



- 音声データは、内部ストレージに保存されます。
- Bluetooth®機能で接続しているマイクから録音することはできません。本製品の送話口(マイク)で録音してください。

音声を再生する

- 1 音声レコーダー画面→[目]
音声データ一覧画面が表示されます。
 - ・音声データの[■]をタップすると、音声データの共有や削除、ファイル名編集、詳細情報の表示を行うことができます。
- 2 音声データをタップ
再生が始まります。
 - ・[アプリケーション]を選択しメニューが表示された場合は、使用するアプリを選択してください。常に同じアプリを使用する場合は、アプリを選択してから、「常時」をタップします。
 - ・[■]をタップすると、音声データをBluetooth®やメール添付などで送信したりできます。
 - ・[■]をタップすると、音声データの削除、巻き戻しの設定を行うことができます。

音声データを選択して削除する

- 1 音声データ一覧画面→[目]
- 2 削除する音声データを選択→[目]→[OK]
 - ・[0選択済み]→[すべて選択]→[目]→[OK]と操作すると、すべての音声データを削除することができます。

簡易ライトを利用する

- 1 アプリ一覧→[簡易ライト]
簡易ライトが点灯します。
 - ・画面をタップするたび、簡易ライトが消灯/点灯します。



- 簡易ライトを目に近づけて点灯させないでください。また、簡易ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様に簡易ライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- ご使用時は電池の減りにご注意ください。

エコモードを利用する

バックライトの消灯時間や画面の明るさを最小値に設定したり、画面の自動回転などをOFFにしたりすることで、電池の消耗を抑えます。

- 1 アプリ一覧→[エコモード]
エコモード画面が表示されます。
- 2 [ON]/[自動ON]
 - ・[自動ON]をタップした場合は、エコモードに切り替える電池残量を設定します。

3	スリープ	15秒後にスリープするかどうかを設定します。
	画面の明るさ	画面の明るさを設定します。
	壁紙	電力消費を抑える壁紙を設定します。
	タッチ操作バイブ	タッチ操作時のバイブレーションを設定します。
	画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示/横表示を切り替えるかどうかを設定します。

スクリーンショットシェアを利用する

表示中の画面をかんたんな操作で撮影、保存することができます。撮影したスクリーンショットにスタンプを押したり、編集してFacebookなどのSNSやEメールで友達と共有できます。

スクリーンショットを撮る

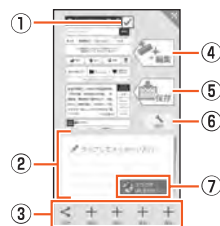
- 撮影したい画面を表示した状態で、画面左上端の領域から中央に向けて指をスライドさせるとスクリーンショットシェアのアプリが起動し、スクリーンショットを撮ることができます。
- ・お買い上げ時は画面をスライドさせてスクリーンショットを撮影できません。アプリ一覧→[スクリーンショットシェア]と操作するか、ステータスバーを下にスライド→[スクリーンショットシェア]と操作して、スクリーンショットシェアを起動させると撮影できるようになります。
 - ・スクリーンショットを撮影する際にスライドを行う位置は、スクリーンショットシェア画面→[設定]→[スライド位置設定]で設定できます。

画像を編集する

編集ボタンからスクリーンショットで撮った画像を編集できます。トリミング・画像の回転・画像にスタンプを押すことができます。

画像を他のアプリへ連携する

送信先アプリ選択ボタンに画像を共有するアプリ(SNSやEメール)を登録することができます。登録したアプリのアイコンを押すことで、スクリーンショット画像とテキストエリアに入力したコメントやURLをSNSに投稿したり、Eメールで送信できます。



- 1 画像添付切替ボタン
撮影したスクリーンショット画像を添付するかどうかを切り替えます。
- 2 テキストエリア
画像を他のアプリに共有する際に一緒に入力した文字を連携できます。
- 3 送信先アプリ選択ボタン
画像をメールアプリやSNSアプリに連携します。
表示されているアプリを変更する場合は、変更するアプリをロングタッチし、「Eメール内までアイコンを選び離すと削除されます」にドラッグして指を離します。アプリが削除された後「追加」をタップし、アプリを選択します。
- 4 編集ボタン
画像を編集できます。
- 5 保存ボタン
画像を保存できます。
- 6 設定ボタン
機能の有効/無効、スライドの位置設定など次の設定項目についての変更ができます。
- 7 情報付加ボタン
タップすると、テキストエリアにマップの位置や、表示されているアプリの詳細説明ページのURLなどの情報を追加できます。

■ 設定項目

項目	概要
スクリーンショット設定	スクリーンショットシェアを利用するかどうかを設定します。
スライド位置設定	スクリーンショットを撮影する際にスライドを行う位置の設定をします。
クリップボード設定	共有時にテキスト入力欄に入力したテキストをコピーするかどうかを設定します。Facebookなど、送信先のアプリでテキストの連携ができない場合は、この設定を「保存する」にして、送信先のアプリでテキストを貼り付けてください。
auスマートパスアプリ情報設定	「情報付加ボタン」で追加するときに、auスマートパスの情報を付加するかどうかを設定します。
バイブ設定	スクリーンショットを撮影するときにバイブレーションを振動させるかどうかを設定します。
ヘルプ	スクリーンショットシェアのヘルプを表示します。



- 「バーコードリーダー」アプリなど、画像の保存が禁止されているアプリではスクリーンショットは撮影できません。

auお客さまサポートを利用する

au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。

- ・ 利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に画面右上の「☰」→「ヘルプ」と操作してauお客さまサポートのヘルプをご参照ください。

1 アプリ一覧→[auお客さまサポート]

auお客さまサポートのトップ画面が表示されます。

- ・ 初めて起動したときは設定メニューが表示され、アカウント設定およびメッセージ受信設定が行えます。アカウントを設定せずに利用する場合は、「アカウントを設定せずに利用する」をタップします。
- ・ 利用規約が表示された場合は、内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

2 確認する	au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できます。
変更する	au電話の契約内容を変更できます。
操作・設定・トラブル	機種別の操作ガイドやお問い合わせの多いQ&Aを確認できます。
おすすめアプリ	各種サポートアプリを利用できます。
auスマートサポート	auスマートサポート会員専用メニューです。
お客さまセンターからのメッセージ	お客さまセンターからのメッセージを確認できます。



◎ 画面右上の「☰」をタップすると、各種お問い合わせ先窓口や設定メニューなどが表示されます。

安心セキュリティパックを利用する

安心セキュリティパックでできること

「3LM Security」「リモートサポート」「ウイルスバスター™ for au」の3種類のアプリを利用して、さまざまなセキュリティ機能とサポートサービスをご利用になれます。

- ・ 安心セキュリティパックは有料です。



◎ 安心セキュリティパックは、auスマートサポートと併用できません。auスマートサポートのご解約と同時に安心セキュリティパックへお申し込みください。
◎ 安心セキュリティパックをお申し込みいただいた場合、「3LM Security」と「ウイルスバスター™ for au」のセットアップを行ってください。

■ 3LM Security

- ・ 本製品を盗難・紛失された場合に、本製品を遠隔操作でロックすることができます。
- ・ 初めて起動したときは、3LM Securityの利用規約説明画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意します」→「有効にする」と操作してください。
- ・ セキュリティ(スタート画面)の暗証番号を忘れてしまった場合に、遠隔操作で暗証番号の初期化、変更ができます。
- ・ 本製品を盗難・紛失された場合に、KDDIオペレータやお客様のパソコンから、本製品の位置をGPSで検索できます。
- ・ 本製品を盗難・紛失された場合に、本製品とmicroSDメモリーカード内のデータを削除する場合には、お客さまセンターへご連絡ください。
- ・ 「3LM Security」を起動したときや、本製品が遠隔操作でロックされたときなどは、端末の位置情報がサーバーに送信されます。また、常に位置情報を送信するように設定することもできます。
- ・ 定期的に本製品の端末情報をサーバーに送信します。

■ リモートサポート

- ・ スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレータがお客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

■ ウイルスバスター™ for au

- ・ 不正アプリ対策
アプリのインストール時にファイルをスキャンして、不正アプリのインストールを防止します。また、インストール済みアプリを手動でスキャンして削除することもできます。
- ・ Webフィルタ
キャンセルや出会い系サイトなど、青少年に不適切なサイトへのアクセスをブロックします。
- ・ Web脅威対策
ウイルス、不正アプリの配布元サイトや、フィッシング詐欺サイトなど、不正サイトへのアクセスを未然にブロックします。
- ・ 着信ブロック/SMSブロック
迷惑電話やSMSの着信拒否だけでなく、特定のキーワードを含むメッセージをブロックすることもできます。
- ・ プライバシースキャン
アプリが個人情報を漏えいする可能性がある場合、警告を表示します。

■ 位置検索をご利用いただくにあたって

当社では、提供したGPS情報に起因する損害については、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ ご利用上の注意

- ・ サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状況が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。
- ・ ご契約いただいているau Nano IC Card (LTE)の情報と、利用開始設定時のau Nano IC Card (LTE)の情報と一致している端末の検索ができます。
- ・ auご契約者とご利用者が異なる場合は、必要に応じてauお客さまサポートから利用者認証番号を設定してください。
 - 利用者認証番号はauお客さまサポートからのみ設定解除が可能です。
 - 利用者認証番号を設定された際は必ずお忘れにならないようご注意ください。
 - 利用者認証番号を忘れた場合、サービスをご利用になれませんのでご注意ください。また、お客様のau携帯電話より操作しない限り、番号の再設定などが行えません。

■ 3LM Securityを利用する

安心セキュリティパックの紛失端末対応機能について設定していない場合は、次の操作で設定します。

1 アプリ一覧→[3LM Security]→[盗難紛失対策]

初めて起動したときは、3LM Securityの利用規約説明画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意します」→「有効にする」と操作してください。

- ・ アプリ一覧→[auお客さまサポート]→[おすすめアプリ]→[安心セキュリティパック]→[安心セキュリティパック]→[リモートロックと位置検索(3LM)]→[アプリを起動する]でも同様に操作できます。

■ リモートサポートを利用する

1 お客さまセンターまでお問い合わせ

「リモートサポート」をご希望のスマートフォン以外からお電話ください。

2 アプリ一覧→[リモートサポート]

起動時には、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」を選択してください。

- ・ アプリ一覧→[auお客さまサポート]→[おすすめアプリ]→[安心セキュリティパック]→[安心セキュリティパック]→[リモートサポート]→[アプリを起動する]でも同様に操作できます。

3 オペレータの指示に従って操作

ウイルスバスター™ for auを利用する

- 1 アプリ一覧→[auお客さまサポート]→[おすすめアプリ]→[安心セキュリティバック]→[安心セキュリティバック]→[ウイルス・Web脅威対策とWebフィルタリング(ウイルスバスター™for au)]
「アプリをダウンロードする」が表示された場合は、画面の指示に従ってアプリをダウンロードしてください。
- 2 [アプリを起動する]
初めて起動したときは、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」を選択してください。
- 3 項目を選択
- 4 画面の指示に従って操作



◎ Webフィルタは、Android標準ブラウザでのLTE NET、無線LAN(Wi-Fi®)接続時に有効です。

auスマートサポートを利用する

auスマートサポートでできること

24時間365日体制*のauスマートサポートセンターによる電話サポートでは、「3LM Security」「リモートサポート」の2種類のアプリを利用して、遠隔操作によるセキュリティ機能とサポートサービスを利用することができます。
その他、「スマホお試しレンタル」など初心者の方でも安心してスマートフォンをご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。
* 23時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。



- ◎ auスマートサポートは、安心セキュリティバックと併用できません。安心セキュリティバックのご解約と同時にauスマートサポートへお申し込みください。
- ◎ ウィルス・Web脅威対策は安心セキュリティバックのご解約により適用されなくなります。お客様にて別途セキュリティ対策を行うことをおすすめいたします。詳しくはお客さまセンターへお問い合わせください。
- ◎ 「3LM Security」「リモートサポート」のご利用にあたっては、「安心セキュリティバックでできること」の「3LM Security」(▶P.68)、「リモートサポート」(▶P.68)および「位置検索をご利用いただくにあたって」(▶P.68)をあわせてご参照ください。

3LM Securityを利用する

auスマートサポートの紛失端末対応機能について設定していない場合は、次の操作で設定します。

- 1 アプリ一覧→[3LM Security]
- 2 [盗難紛失対策]
初めて起動したときは、3LM Securityの利用規約説明画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意します」→「有効にする」と操作してください。

リモートサポートを利用する

- 1 auスマートサポートセンターまでお問い合わせ
auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。
「リモートサポート」をご希望のスマートフォン以外からお電話ください。
- 2 アプリ一覧→[リモートサポート]
起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。
- 3 アドバイザーの指示に従って操作

安心アクセス for Android™を利用する

お子様にスマートフォンを安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブページへのアクセスやアプリのご利用を制限するフィルタリングアプリです。
お子様の年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」の3段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブページやアプリの制限/許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。
また、保護者が指定した相手先にのみ通話を制限したり、夜間などスマートフォンのご利用を制限することもできます。

- 1 アプリ一覧→[安心アクセス]
ログインにはau IDが必要です。au IDについては「au IDを設定する」(▶P.20)をご参照ください。
アイコンをタップすると「安心アクセス for Android」のダウンロードページに遷移します。「無料」をタップし、画面の指示に従ってダウンロード、および、インストールをしてください。
正常にインストールが完了したら「アプリ起動」をタップしてください。初めて起動したときは、許可画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」をタップし、画面の指示に従って操作してください。
- 2 [au IDでログイン]→[ログイン]
画面の指示に従って操作してください。
- 3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力
仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。
- 4 フィルタリングの強度を選択

小学生向け	・ お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもの、時間の浪費が心配なもの、また前記以外の心配事を含むサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 ・ 本製品内の個人情報を読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 ・ EMA*が認定するサイト/アプリでも、初期の状態では利用できません。設定を変更することで利用可能になります。
中学生向け	・ お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもののサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 ・ 本製品内の個人情報に不適切に読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 ・ EMA*が認定するサイト/アプリは利用可能です。
高校生向け	・ お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるものの閲覧やアプリの利用はできません。 ・ 本製品内の個人情報に不適切に読み取るアプリも利用できません。 ・ EMA*が認定するサイト/アプリは利用可能です。

* 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

- 5 [規約に同意してサービスを利用開始する]→[OK]
利用規約を必ずご確認ください。
デバイス管理者を有効にする画面が表示されます。
 - 6 [有効にする]
ウェブページが表示されます。
- ### 管理者情報を登録する
- 1 アプリ一覧→[安心アクセス]
 - 2 [■]→[その他]→[管理者登録]
・ 画面上の「ここをタップして、安心アクセス for Android™の管理者IDを登録してください」の表示をタップしても管理者登録の設定画面に進むことができます。
 - 3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]
 - 4 管理者IDを入力→管理者ID(確認)を入力→[管理者ID確認へ進む]
管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。
 - 5 [申請する]
管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。
 - 6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→[管理者登録を行う]→[OK]



◎ 管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

■ 管理者ページを利用する

パソコンから、管理者登録後にメール送信される管理者ページURLに接続してください。

※以下の手順でお子様のスマートフォンから利用することも可能です。

- 1 アプリ一覧→[安心アクセス]
- 2 [■]→[その他]→[設定]→[管理者ページ]
- 3 管理者IDとパスワードを入力→[ログイン]

フィルタリング設定	年代設定の変更や、個別のサイトやアプリの許可／制限などカスタマイズが可能です。
管理者情報	管理者ID(メールアドレス)やパスワードの変更ができます。
スマホ情報	管理しているスマートフォンの名前を設定できます。

・詳しくはauホームページをご参照ください。
<http://www.au.kddi.com/mobile/service/smartphone/safety/anshin-access/>

スマートフォン自動診断を利用する

■ スマートフォン自動診断でできること

- ・スマートフォンの設定や状態を自動的に診断し、問題が見つかった場合は、自動的に修復したり、修復方法を確認することができます。
- ・スマートフォンの設定や状態以外にも、契約状況に問題がある場合は、状況を確認することができます。
- ・コンディションレコーダーの機能により、スマートフォンを好調だった時点に戻すことができます。
- ・スマートフォンの状態によっては、インストール済みのアプリをバージョンアップすることにより修復できる場合もあります。
- ・診断コードを使用した修理相談ができます。

- 1 アプリ一覧→[auお客さまサポート]→[おすすめアプリ]→[スマートフォン自動診断]→[アプリを起動する]
- ・利用規約が表示された場合は、内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

2 自動診断	「問題を検出する」をタップすると診断を開始します。診断が終了したら「次へ」をタップして診断結果および修復結果と、修復方法を確認してください。
アプリの更新	インストール済みのアプリのバージョンアップによる修復を行います。アプリの種類(「Google Play」または「auマーケット」)を選んでください。
コンディションレコーダー	自動診断で解決しなかった場合、グラフによりスマートフォンの調子を確認し、指定の日時の状態に戻すことができます。詳細は「ヘルプ」タブをタップしてください。
修理相談	画面に表示された診断コードを使用して、安心ケータイサポートセンターに修理相談をすることができます。

memo

- ◎ トップメニュー画面下部の「サービス概要」をタップすると、スマートフォン自動診断アプリの操作についての詳細を確認できます。

自動診断

- ◎ 診断終了後に「よくあるご質問」が表示されます。そちらもご確認ください。
- コンディションレコーダー
- ◎ 指定した日時の状態に戻すと、その間に行った一切の変更(アプリのインストール、アンインストール含む)が元に戻ります。
- ◎ 本アプリは、本アプリをインストールしてから、スマートフォンの状態を記録し始めます。
本アプリを利用する前の状態には情報がないため、戻せません。
- ◎ 過去の状態に戻して何らかの不都合が生じた場合は、再度今の状態に戻すことも可能です(ただし、一部データを除く)。詳細は「ヘルプ」タブをタップしてください。

au Wi-Fi接続ツールを利用する

ご自宅にてHOME SPOT CUBE等のWi-Fi[®]親機と簡単に接続できます。外出先ではすべてのau Wi-Fi SPOTがご利用いただけるようになります。スポット検索も可能です。

- ・利用方法などの詳細については、au Wi-Fi接続ツール画面→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 アプリ一覧→[au Wi-Fi接続ツール]

au Wi-Fi接続ツール画面が表示されます。初回起動時には、許可画面などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作し、設定してください。

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報)、災害用音声お届けサービス、災害情報／義援金サイトを利用することができるアプリです。

1 アプリ一覧→[au災害対策]

au災害対策メニュー画面が表示されます。

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方のほか、他社携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご参照ください。

1 au災害対策メニュー画面→[災害用伝言板]

画面の指示に従って、登録／確認を行ってください。

memo

- ◎ 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス(～ezweb.ne.jp)が必要です。あらかじめ、メールアドレスを設定しておいてください。Eメールアドレスの設定について、詳しくは「Eメールを設定する」(▶P.42)をご参照ください。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi[®])接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。
- ◎ 当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何によらず、一切の責任を負いかねます点、ご了承のうえご利用ください。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

お買い上げ時は、緊急速報メール(緊急地震速報および災害・避難情報)の「受信設定」は「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害・避難情報の設定にてご利用いただけます。

緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着いた行動をお願いいたします。津波警報を受信したときは、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニュー画面→[緊急速報メール]

受信ボックスが表示されます。
確認したいメールを選択すると、メールの詳細を確認できます。

2 削除	受信したメールを削除します。
設定	緊急地震速報: 緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 災害・避難情報: 災害・避難情報および津波警報を受信するかどうかを設定します。 音量: 受信音の音量を設定します。 バイブ: 受信時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。 マナー時の鳴動: マナーモード設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。 緊急地震速報: 緊急地震速報の受信音やバイブレータの動作を確認します。 災害・避難情報: 災害・避難情報および津波警報の受信音やバイブレータの動作を確認します。

memo

- ◎ 日本国内のみのサービスです（海外ではご利用になれません）。
- ◎ 緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
- ◎ 電源を切っているときや通話中は、緊急速報メールを受信できません。
- ◎ SMS / Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であつたり、サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
- ◎ 受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
- ◎ 緊急速報メール受信時は、専用の警報音とバイブレータの振動で通知します。警報音は変更できません。
 - ※ 緊急地震速報の場合は、警報音と音声（「地震です」）、バイブレータの振動で通知します。
- ◎ お客様の現在地とは、異なる地域に関する情報を受信する場合があります。
- ◎ 当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
- ◎ 気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
<http://www.jma.go.jp/>

緊急地震速報について

- ◎ 緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が予測される地域をお知らせするものです。
- ◎ 地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、可能な限りすばやくお知らせします。
- ◎ 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
- ◎ テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは、配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。

津波警報について

- ◎ 津波警報とは、気象庁から配信される大津波警報・津波警報を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。

災害・避難情報について

- ◎ 災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報を、お知らせするものです。

災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にスマートフォンで音声録音し、安否をお届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1 au災害対策メニュー画面→[災害用音声お届けサービス]

画面の指示に従って、登録を行ってください。

■ 音声を送る（送信）

「声をお届け」を選択し、「①お届け先を選択※」→「②お届けしたい声を録音」の順で操作してください。

※お届け先は、電話帳からも選択可能です。

■ 音声を受け取る（受信）

音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面、もしくは、SMSで通知されます。音声メッセージを受信（ダウンロード）し、再生することで、聞くことができます。

- 受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応した「au災害対策アプリ」を立ち上げていないスマートフォンや、au携帯電話の場合、SMSでお知らせします。
- SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

memo

- ◎ Wi-Fi®でのご利用には、4G/3Gネットワークにて初期設定が必要になります。
- ◎ 音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。
- ◎ au携帯電話間、および他社携帯電話・PHSと相互にやりとりが可能です。
- ◎ メディアの音量を小さくしている、もしくはマナーモードに設定している場合、音声を聞き取れない場合があります。
- ◎ 本体（メモリ）に空き容量がない場合は、音声メッセージが保存・再生できない場合があります。
- ◎ 音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくはauホームページをご覧ください。

災害情報／義援金サイトを利用する

自治体が発信した災害・避難情報の履歴や、災害情報ポータル、義援金サイトなどを確認できます。

1 au災害対策メニュー画面→[災害情報／義援金サイト]

2 画面の指示に従って操作

auスマートパスを利用する

auスマートパスは、月額372円（税抜）で、アプリ取り放題、会員特典としてのお得なクーポンやプレゼント、大切な写真や動画・連絡先のお預かりサービス、セキュリティアプリなど、スマートフォンを安心・快適にご利用いただけるサービスです。

- 利用方法などの詳細情報については、auスマートパスTOPページの「その他」をタップ→[設定]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。
- ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引へのご加入をおすすめします。
- 一部アプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面→[auスマートパス]

auスマートパスTOPページが表示されます。

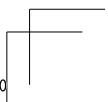
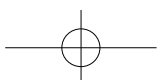
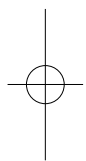
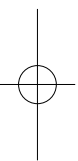
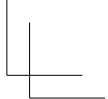
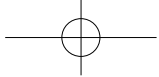
- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。
- プッシュ通知設定の画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- パーソナル設定の画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- au ID設定画面が表示された場合は、「au IDを設定」をタップし、画面の指示に従ってau IDを設定してください。au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。au IDの設定方法については、「設定ガイド」をご参照ください。
- auスマートパスにご加入いただけない場合は、auスマートパスTOPページの「その他」をタップ→[設定]→[auスマートパス入会／退会]と操作し、画面の指示に従って操作し、加入してください。

3

タイムライン	ニュース、天気、乗換案内など、便利な情報が表示されます。
アプリ	利用したいアプリを検索してダウンロードできます。
会員特典	クーポン、イベント、ショッピングなど、さまざまな会員限定の特典をご利用いただけます。
au WALLET	au WALLETの情報やポイントの確認などができます。
その他	auスマートパスの設定などができます。

memo

- ◎ サービスを解約された場合、すべてのサービスが利用できなくなります。ダウンロードしたアプリについてはサービス解約後、自動的に消去されます。解約後はご利用いただけません。
- ◎ アプリなどにより、お客様が操作していない場合でも、自動的にパケット通信が行われる場合があります。
- ◎ コンテンツによっては、本製品に対応していない場合があります。
- ◎ 各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。



ファイル管理

内部ストレージ..... 74

microSDメモリカードを利用する..... 74

 microSDメモリカードを取り付ける／取り外す..... 74

microUSBケーブルでパソコンと接続する 75

 メモリの使用量を確認する 75

内部ストレージ

本製品にはmicroSDメモリカードとは別の内部ストレージにデータを保存できます。主なデータの保存先は、本製品の内部ストレージです。ただし、アプリによっては、データの保存先としてmicroSDメモリカード／内部ストレージのどちらかを選択することができる場合もあります。また、電話帳のエクスポートなどについては、microSDメモリカードにのみ保存されます。「ファイル管理」(▶P.60)を利用して、内部ストレージやmicroSDメモリカードに保存されたデータを確認したり、移動することができます。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存／移動／コピーすることができます。

memo

- 他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品で初期化してください。初期化する方法については、「microSDメモリカードを初期化する」(▶P.75)をご参照ください。
- 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行っても本製品で再生できない場合があります。
- microSDXCメモリカードはSDXC対応機器でのみご使用いただけます。万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモリカードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。SDXC非対応の機器でmicroSDXCメモリカードをフォーマットした場合、microSDXCカードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXCメモリカード本来の容量で使用できなくなることがあります。

■ 取扱上のご注意

- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- microSDメモリカードを取り付けている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えたりしないでください。記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。
- microSDメモリカードスロットには、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

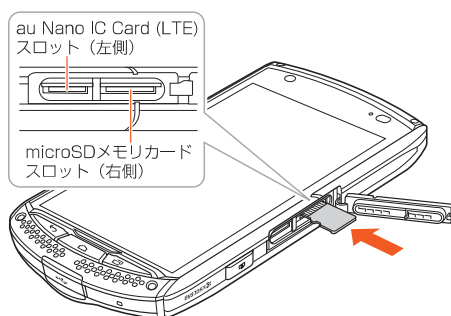
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

microSDメモリカードを取り付ける

1 カードスロットカバーを開ける

2 microSDメモリカードの挿入方向を確認し、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくりに差し込む

挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。



3 カードスロットカバーを閉じる

memo

- microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

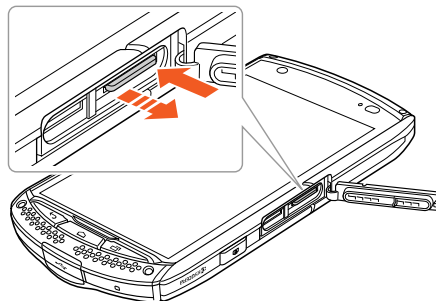
microSDメモリカードを取り外す

1 アプリ一覧→[設定]→[ストレージ]→[SDカードのマウント解除]→[OK]

2 カードスロットカバーを開ける

3 microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へゆっくりに押し込む

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。



4 microSDメモリカードをゆっくりに引き抜く

まっすぐにゆっくりに引き抜いてください。microSDメモリカードによっては、ロック解除できず出てこない場合があります。その場合は指で軽く引き出して取り外してください。

5 カードスロットカバーを閉じる

memo

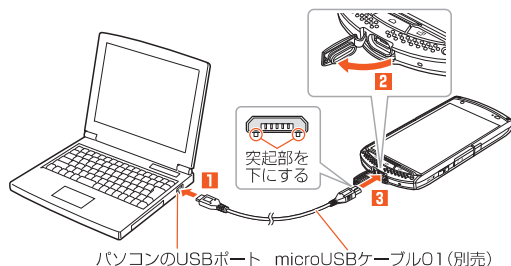
- microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
- microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
- 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- microSDメモリカードを取り外す場合は、データが壊れる(消去される)ことを防ぐため、必ずマウント解除動作を行ってください。

microUSBケーブルでパソコンと接続する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01 (別売) で接続すると、本製品の内部ストレージ、microSDメモリカード内のデータを読み書きできます。また、音楽／動画データの転送も可能です。

- USBドライバおよびインストールマニュアルについては、下記のホームページをご確認ください。
auのホームページ: <http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/usb-driver/>

- 1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01 (別売) をパソコンのUSBポートに接続
- 2 本製品の外部接続端子カバーを開ける
- 3 本製品が完全に起動している状態で、microUSBケーブル01 (別売) のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む



■ パソコンのデータを同期する

パソコンのWindows Media® Playerと音楽や動画などのデータを同期させたり、パソコンと本製品の内部ストレージ、microSDメモリカードとの間で、ドラッグ＆ドロップでデータをコピー／移動できます。

- 1 本製品とパソコンを接続する
- 2 パソコンでWindows Media® Playerを起動する
- 3 Windows Media® Playerを操作してデータを同期する
詳しい操作方法については、Windows Media® Playerのヘルプをご参照ください。Windows Media® Player 11 / 12をご使用ください。
ドラッグ＆ドロップでデータをコピー／移動するには、パソコンで本製品のフォルダを開き、内部ストレージ／SDカードフォルダを開いてから操作します。
- 4 転送終了後、microUSBケーブル01 (別売) を本製品から取り外す
microUSBケーブル01 (別売) のコネクタ部分を持って、まっすぐに引き抜いてください。

メモリの使用量を確認する

本体内部メモリや内部ストレージ、microSDメモリカードの合計容量や空き容量を確認できます。

- 1 アプリ一覧→[設定]→[ストレージ]

2	内部ストレージ	合計容量	内部ストレージの合計容量／空き容量が確認できます。
		空き容量	
	SDカード	合計容量	microSDメモリカードの合計容量／空き容量が確認できます。*
		空き容量	

※ メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。

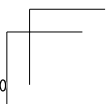
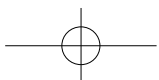
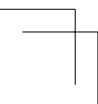
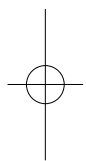
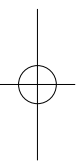
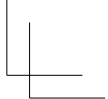
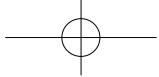
■ microSDメモリカードを初期化する

microSDメモリカードを初期化すると、microSDメモリカードに保存されているデータ(アプリを含む)はすべて削除されます。

- 1 アプリ一覧→[設定]→[ストレージ]
- 2 [SDカード内データを消去]→[SDカード内データを消去]→[すべて消去]

memo

○ 初期化は充電しながら行うか、内蔵電池が十分に充電された状態で行ってください。



データ通信

Bluetooth®機能.....	78
Bluetooth®機能をオンにする	78
Bluetooth®機器を登録する.....	78
Bluetooth®機能でデータを送受信する.....	78
無線LAN(Wi-Fi®)機能	79
Wi-Fi®機能をオンにする	79
Wi-Fi®ネットワークに接続する.....	79
Wi-Fi®機能を切断する	79
Wi-Fi®機能のスリープ設定をする	79
Wi-Fi®機能の詳細設定をする.....	79
Wi-Fi Directを設定する.....	80
テザリング機能を利用する	80
テザリングについて	80
USBテザリング機能を利用する	80
Wi-Fi®テザリング機能を利用する	80
Bluetooth®テザリング機能を利用する.....	80

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®機器とワイヤレス接続できる技術です。Bluetooth®機器と通信するには、Bluetooth®機能をオンにする必要があります。また、必要に応じて本製品とBluetooth®機器のペアリング（登録）を行ってください。

memo

- 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ Bluetooth®機能使用時の注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. 本製品とほかのBluetooth®機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■ 無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器との電波干渉について

Bluetooth®機能と無線LAN (Wi-Fi®) 機能 (IEEE802.11b/g/n) は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用しています。そのため、本製品のBluetooth®機能と無線LAN (Wi-Fi®) 機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。また、本製品のBluetooth®機能のみ使用している場合でも、無線LAN (Wi-Fi®) 機能を搭載した機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、以下の対策を行ってください。

1. 本製品と無線LAN (Wi-Fi®) 機能を搭載した機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、無線LAN (Wi-Fi®) 機能を搭載した機器の電源を切ってください。

Bluetooth®機能をオンにする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をオンに設定します。

他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。

- 他のBluetooth®機器からの接続を受けるには、本製品をあらかじめ他の機器から検出可能に設定しておく必要があります（▶P.78）。

1 アプリ一覧→[設定]→[Bluetooth]を「ON」にする

Bluetooth®機能がオンになり、ステータスバーに「」（接続待機中のアイコン）が表示されます。

memo

- Bluetooth®機能のオン／オフ設定は、電源を切っても変更されません。
- Bluetooth®機能は本製品の電源を切った状態では利用できません。
- Bluetooth®機能をオンにすると、電池の消耗が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。また飛行機の中や病院など、無線機器の使用が禁止されている場所では、Bluetooth®機能をオフにしてください。

Bluetooth®機器を登録する

本製品と他のBluetooth®機器を接続するには、あらかじめペアリング（登録）を行います。

- 機器によって、ペアリングのみ行う場合と、続けて接続まで行う場合があります。

1 アプリ一覧→[設定]→[Bluetooth]を「ON」にする→[Bluetooth]

Bluetooth設定画面が表示されます。

検出されたBluetooth®デバイス名が一覧表示されます。

2 ペアリングを行うBluetooth®デバイス名を選択

3 画面の指示に従って操作

パスキー入力画面が表示されたときは、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー（4～16桁の数字）を入力します。

memo

- Bluetooth®機器との接続中には、他のBluetooth®機器を登録できない場合があります。
- ペアリングを行うデバイス側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。
- 接続するBluetooth®デバイス名が表示されていないときは、「[デバイスの検索]」をタップして、機器を再検索します。

■ パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するとき、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。本製品では、4～16桁の数字を入力できます。

memo

- パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
- 接続する機器によっては、毎回パスキーの入力が必要な場合があります。

他のBluetooth®機器から検出可能にする

1 Bluetooth設定画面→本製品のデバイス名をタップ

本製品が、他のBluetooth®機器から一定時間検出可能になります。

- 検出可能な時間は、Bluetooth設定画面→「」→「[表示のタイムアウト]」と操作すると変更できます。

■ 他のBluetooth®機器からペアリング要求を受けた場合

ペアリングを要求された場合は、必要に応じて「ペア設定する」をタップまたはパスキーを入力し、Bluetooth®機器を認証します。

Bluetooth®機器の接続を解除する

1 Bluetooth設定画面→接続を解除するBluetooth®デバイス名をタップ→[OK]

- ペアリングを解除する場合は、「」→「ペアを解除」をタップします。

Bluetooth®機能でデータを送受信する

あらかじめ本製品のBluetooth®機能をオンにしてください。

■ Bluetooth®機能でデータを送信する

連絡先、静止画、動画、音楽などのファイルを、他のBluetooth®機器に送信できます。

- 送信は各アプリの「」のメニューから行ってください。

■ Bluetooth®機能でデータを受信する

1 他のBluetooth®機器からデータ送信

ステータスバーに「Bluetooth共有：ファイル着信」と表示されます。

2 ステータスバーを下にスライド

3 [Bluetooth共有：ファイル着信]

4 [承諾]

ステータスバーに「」が表示され、データの受信が開始されます。通知パネルのお知らせで受信状態を確認できます。

無線LAN (Wi-Fi®) 機能

家庭内で構築した無線LAN (Wi-Fi®) 環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。



memo

- ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN (Wi-Fi®) 親機 (Wi-Fi® ネットワーク) をご用意ください。
- 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi® ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- 無線LAN (Wi-Fi®) 機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi®機能をオンにする

Wi-Fi®機能を使用するには、Wi-Fi®機能をオンにしてから利用可能なWi-Fi®ネットワークを検索して接続します。

1 アプリ一覧→[設定]→[Wi-Fi]を「ON」にする

Wi-Fi®機能が起動し、利用可能なWi-Fi®ネットワークがスキャンされます。Wi-Fi®機能がオンになるまで、時間がかかる場合があります。

memo

- Wi-Fi®機能がオンのときでもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fi®ネットワーク接続中は、Wi-Fi®機能が優先されます。
- Wi-Fi®ネットワークが切断されると、自動的にパケット通信に切り替わります。
- Wi-Fi®機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fi®ネットワークの電波強度は、本製品をお使いの位置によって異なります。Wi-Fi®ルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 アプリ一覧→[設定]→[Wi-Fi]を「ON」にする→[Wi-Fi]

Wi-Fi設定画面が表示され、利用可能なWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。

2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→[接続]

- ・セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)*を入力し、「接続」をタップします。
*パスワード(セキュリティキー)は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ・接続が完了すると、ステータスバーに「」が表示されます。

memo

- Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。
- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用にならない場合があります。

Wi-Fi®ネットワークを簡単に設定する

WPSマークがあるWi-Fi Protected Setup™対応アクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

- ・あらかじめ無線LAN (Wi-Fi®) 機能をオンにしてください。

■ WPSボタン方式の場合

1 Wi-Fi設定画面→[]

2 画面の指示に従って操作

■ WPS PIN入力方式の場合

1 Wi-Fi設定画面→[]→[WPS PIN入力]

2 画面の指示に従って操作

Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する

1 Wi-Fi設定画面→[+]

2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワークSSIDを入力

3 セキュリティを選択

必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

4 [保存]

memo

- 手動でWi-Fi®ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

Wi-Fi®機能を切断する

1 Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークを選択

2 [切断]

memo

- Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→[ネットワークから切断]と操作しても、接続を切断できます。
- 切断すると、再接続のときにパスワード(セキュリティキー)の入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi®機能のスリープ設定をする

Wi-Fi®機能のスリープ設定を変更することで、画面のバックライトが消灯したときに本体のWi-Fi®機能がスリープするように設定できます。また、Wi-Fi®機能を常にオンにするか、あるいは充電時には常にオンするように設定することも可能です。

1 Wi-Fi設定画面→[]→[詳細設定]→[スリープ時にWi-Fi接続を維持]

2 スリープ設定を選択

Wi-Fi®機能の詳細設定をする

1 Wi-Fi設定画面→[]→[詳細設定]

2 必要な項目を設定

ネットワークの通知	オープンネットワーク(パスワードなどが設定されていないWi-Fi®ネットワーク)が検出されたら通知するように設定します。
スリープ時にWi-Fi接続を維持	▶P.79「Wi-Fi®機能のスリープ設定をする」
接続不良のとき無効にする	電波が安定しているときのみWi-Fi®機能を使用するように設定します。
証明書のインストール	Wi-Fi®認証用の証明書をインストールします。
Wi-Fi最適化	Wi-Fi®機能がオフのときに電池消費を抑えるように設定します。
MACアドレス	本製品のMACアドレスが表示されます。
IPアドレス	IPアドレスが表示されます。

memo

- 「接続不良のとき無効にする」をオンにした状態でWi-Fi®が不安定になったとき、Wi-Fi®のみに通信を制限する一部のアプリにおいて、アプリの動作仕様により、一時的に4G/3Gデータ通信を行う場合があります。

Wi-Fi Directを設定する

Wi-Fi Direct対応デバイス同士を接続するように設定できます。

1 Wi-Fi設定画面→[]→[Wi-Fi Direct]

デバイス一覧画面が表示されます。

- ・接続要求を出す場合は、デバイス一覧画面から接続先を選択し、画面の指示に従って操作します。接続を切断する場合は、接続済みのデバイスをタップして切断します。
- ・「デバイスの検索」をタップすると、デバイス一覧を更新できます。
- ・「デバイス名を変更」をタップすると、デバイス側で表示される本製品の名前を変更できます。

テザリング機能を利用する

テザリングについて

テザリングとは、本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続することができる機能です。無線LAN(Wi-Fi[®])機器を最大10台まで接続したり、microUSBケーブル01(別売)でパソコンと本製品を接続したり、Bluetooth[®]機器を最大5台まで接続して、インターネットに接続することもできます。



◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

USBテザリング機能を利用する

1 アプリ一覧→[設定]→[その他...]→[テザリング]

2 USBテザリング*	USB経由でテザリングします。 あらかじめ「microUSBケーブルでパソコンと接続する」(▶P.75)を参照してmicroUSBケーブル01(別売)を接続してください。
-------------	--

* USBテザリング機能を使用する場合は、あらかじめパソコンにUSBドライバのインストールが必要です。USBドライバおよびインストールマニュアルについては、下記のホームページをご確認ください。

auのホームページ: <http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/usb-driver/>

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」を選択してください。

「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。



◎ USBテザリング機能をオフにする場合は、microUSBケーブル01(別売)を抜いてください。

Wi-Fi[®]テザリング機能を利用する

1 アプリ一覧→[設定]→[その他...]→[テザリング]

2 Wi-Fiテザリング	本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続します。
Wi-Fiテザリング設定	ポータブルアクセスポイントのセットアップと管理をします。必要な情報を入力します。

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」を選択してください。

「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。



◎ 「Wi-Fiテザリング設定」で「セキュリティ」を「なし」にすると、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。

Bluetooth[®]テザリング機能を利用する

1 アプリ一覧→[設定]→[その他...]→[テザリング]

2 Bluetoothテザリング	本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続します。
------------------	------------------------------------

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」を選択してください。

「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。

機能設定

機能設定	82
設定メニューを表示する	82
無線とネットワークの設定をする	82
音 / バイブの設定をする	83
画面の設定をする	84
ダイレクトボタンの設定をする	84
ストレージに関する設定をする	84
電池使用量を表示する	84
位置情報の設定をする	84
スタート画面の設定をする	84
セキュリティの設定をする	85
言語と入力に関する設定をする	85
バックアップとリセット	85
アカウントの設定をする	85
日付と時刻の設定をする	86
ユーザー補助の設定をする	86
印刷に関する設定をする	86
端末情報に関する設定をする	86

機能設定

設定メニューから各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズや、セキュリティの設定、データの初期化などを行うことができます。

設定メニューを表示する

1 アプリ一覧→[設定]

すべての設定メニューが表示されます。

■ 設定メニュー項目一覧

項目	設定内容	参照先
機内モード	ワイヤレス機能(電話、パケット通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能)をすべてオフに設定します。	P.82
Wi-Fi	無線LAN(Wi-Fi®)機能を設定します。	P.79
Bluetooth	Bluetooth®機能を設定します。	P.78
データ使用量	データ通信量の表示やデータ通信の使用上限を設定します。	P.82
マキシマイザー	電力消費に関する設定を行います。	P.82
その他...	テザリングやVPNなどの通信に関する設定を行います。	P.82
ホーム切替	ホームアプリを切り替えます。	P.23
音/バイブ	着信音やバイブレーション(振動)、通知音、操作音など、音に関する設定を行います。	P.83
ディスプレイ	フォントサイズや壁紙、明るさ、画面の向きなど、画面表示に関する設定を行います。	P.84
ダイレクトボタン	ダイレクトボタンの動作を設定します。	P.84
ストレージ	本製品本体内部やmicroSDメモ리카ードのメモリ容量の確認、microSDメモ리카ードの初期化を行います。	P.84
電池	電池残量や使用量を表示します。	P.84
アプリ	ダウンロードしたアプリを確認したり、実行中のアプリに関する設定を行います。	P.64
位置情報	無線LAN(Wi-Fi®)機能やGPS機能などを使った位置情報に関する設定を行います。	P.84
スタート画面	スタート画面に関する設定を行います。	P.84
セキュリティ	UIMカードロックの設定などセキュリティに関する設定を行います。	P.85
言語と入力	表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。	P.85
バックアップとリセット	データのバックアップや復元の設定をしたり、データの初期化を行います。	P.85
アカウントを追加	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。	P.85
日付と時刻	日付と時刻の表示形式などの設定を行います。	P.86
ユーザー補助	通話終了時の動作や、ユーザー補助サービスの設定を行います。	P.86
印刷	印刷に関する設定を行います。	P.86
端末情報	電話番号や電池残量などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もここから行います。	P.86

無線とネットワークの設定をする

Wi-Fi®やBluetooth®接続、ホームネットワークの設定など、通信に関する設定を行います。

1 設定メニュー

機内モード	▶P.82「機内モードを設定する」	
Wi-Fi	▶P.79「無線LAN(Wi-Fi®)機能」	
Bluetooth	▶P.78「Bluetooth®機能」	
データ使用量	データ通信を使用するかどうかを設定します。 ・オンにすると、モバイルデータの制限を設定することもできます。 ・[⋮]→「データの自動同期」/「モバイルアクセスポイント」を選択して、データ通信の詳細な設定を行うことができます。 ・[⋮]→「Wi-Fi使用を表示する」を選択すると、Wi-Fi使用のタブが表示され、データ使用量を確認できます。	
マキシマイザー	▶P.82「マキシマイザーを利用する」	
その他...	デフォルトのSMSアプリ	電話帳などから起動するSMSのアプリを設定します。 ▶P.62「おサイフケータイ®の機能を設定する」
	NFC/おサイフケータイ設定	
	テザリング	▶P.80「テザリング機能を利用する」
	VPN	▶P.83「VPNを設定する」
	モバイルネットワーク	▶P.83「モバイルネットワークを設定する」

■ 機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(電話、パケット通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能)がすべてオフになります。

1 設定メニュー→「機内モード」を「ON」にする

機内モードが設定されると、ステータスバーに「」が表示されます。

memo

- ◎ 機内モードがONの場合でも無線LAN(Wi-Fi®)/Bluetooth®機能をONにすることができます。携帯電話の使用が禁止されている場所(航空機内、医療機器や電子機器のそばなど)では、電源を切ってください。
- ◎ 機内モードをONに設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的にオフに設定されます。
- ◎ 機内モードをONに設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能による通信などもオフにします。
- ◎  (1秒以上長押し)→[機内モード]と操作してもON/OFFを切り替えることができます。

■ マキシマイザーを利用する

バックグラウンドで起動するアプリケーションを制限し、電力消費量を抑えることができます。

1 アプリ一覧→[設定]→[マキシマイザー]→「マキシマイザー」を「ON」にする

VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク(VPN:Virtual Private Network)は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

本製品からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

- 本製品は以下の種類のVPNに対応しています。
 - PPTP
 - L2TP/IPSec PSK
 - L2TP/IPSec RSA
 - IPSec Xauth PSK
 - IPSec Xauth RSA
 - IPSec Hybrid RSA

VPNを追加する

1 設定メニュー→[その他...]→[VPN]

VPN画面が表示されます。

- 初回起動時など、セキュリティの設定が必要な場合は画面の指示に従って設定してください。項目の内容については、「スタート画面の設定をする」(▶P.84)をご参照ください。

2 [十]

3 VPN設定の各項目を設定→[保存]

VPN画面のリストに、新しいVPNが追加されます。



◎ 追加したVPNは編集したり、削除したりできます。編集するには、変更するVPNをロングタッチ→[プロフィールを編集]→必要に応じてVPNの設定を変更→[保存]と操作します。
削除するには、削除するVPNをロングタッチ→[プロフィールを削除]→[OK]と操作します。

VPNに接続する

1 設定メニュー→[その他...]→[VPN]

VPN画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力→[接続]

VPNに接続すると、接続中を示す通知がステータスバーに表示されます。

VPNを切断する

1 ステータスバーを下にスライド→VPN接続中を示す通知をタップ

VPN接続済みポップアップで、「切断」をタップすると切断されます。

モバイルネットワークを設定する

データ通信やローミングなどのネットワークを利用できるように設定します。

4Gネットワークに接続する

1 設定メニュー→[その他...]→[モバイルネットワーク]→[4G]を選択

データ通信を設定する

1 設定メニュー→[その他...]→[モバイルネットワーク]→[データ通信]を選択



◎ [4G]を解除すると4G通信でのパケット通信ができなくなります。
◎ 「データ通信」を解除するとデータ通信が無効になり、CDMA1XWIN(国内でのEVDOマルチキャリアサービスを含む)/4G通信でのパケット通信ができなくなります。
◎ ローミング設定については、「海外利用に関する設定を行う」(▶P.94)をご参照ください。

ローミング時のデータ通信を設定する

1 設定メニュー→[その他...]→[モバイルネットワーク]→[データローミング]を選択→[OK]

音/バイブの設定をする

着信音など、音やバイブレーション、着信ランプに関する設定を行います。

1 設定メニュー→[音/バイブ]

2 音量	▶P.83「各種音量を調節する」
着信音	着信音に設定するデータを選択して登録します。
バイブパターン	▶P.83「バイブレーションのパターンを設定する」
着信時のバイブ	▶P.83「バイブレーションを設定する」
お知らせ通知	新着通知受信時に通知を確認するまで着信ランプを点滅させるかどうかを設定します。
デフォルトの通知音	通知音に設定するデータを選択して登録します。
ダイヤルパッド操作音	ダイヤルパッドのタッチ操作音を有効にするかどうかを設定します。
タッチ操作音	タッチ操作音を有効にするかどうかを設定します。
画面ロックの音	スタート画面のセキュリティ設定/解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
タッチ操作バイブ	タッチ操作時にバイブレーションが動作するかどうかを設定します。
充電完了音	充電完了音を有効にするかどうかを設定します。

各種音量を調節する

1 設定メニュー→[音/バイブ]→[音量]

次の項目の音量を調節します。

- 音楽、動画、ゲーム、その他のメディア
- 着信音と通知音
- アラーム

2 スライダーを左右にドラッグして、音量を調節

音量を上げる/下げるにはスライダーを右/左にドラッグします。

3 [OK]



◎ マナーモード設定時に、「着信音と通知音」の音量を上げるとマナーモードは解除されます。

バイブレーションのパターンを設定する

1 設定メニュー→[音/バイブ]→[バイブパターン]

次の項目のバイブレーションのパターンを調節します。

- マナーモード
- 着信時

2 [Off]/[パターン1]/[パターン2]/[パターン3]/[パターン4]/[パターン5]

3 [OK]

バイブレーションを設定する

1 設定メニュー→[音/バイブ]

2 「着信時バイブ」を選択



◎ 解除すると、着信時にバイブレーションは動作しません。

画面の設定をする

画面の明るさの設定や文字フォントの切り替えなど、表示に関する設定を行います。

1 設定メニュー→[ディスプレイ]

2	画面の明るさ	画面の明るさを設定します。 ・「明るさを自動調整」を選択すると、周囲の明るさに合わせて画面の明るさが自動的に調整されます。
	壁紙	ホーム画面の壁紙を設定します。
	画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
	スリープ	スリープモードへ移行するまでの時間を設定します。
	スクリーンセーバー	▶P.84「スクリーンセーバーを設定する」
	フォントサイズ	画面に表示されるフォントサイズを設定します。
	キーバックライト	◀/▶/⏻キーのバックライトを点灯するかを設定します。
	電池残量をパーセント表示	電池残量をパーセント表示するかを設定します。

スクリーンセーバーを設定する

1 設定メニュー→[ディスプレイ]→[スクリーンセーバー]→[スクリーンセーバー]を[ON]にする

2 スクリーンセーバーの種類を選択

「」をタップすると、詳細な設定まで選択できます。
「今すぐ起動」をタップすると、選択したスクリーンセーバーが起動します。

ダイレクトボタンの設定をする

ダイレクトボタンを押したときの動作や起動させるアプリを設定します。

■ダイレクトボタンを押したときの動作を選択する

1 設定メニュー→[ダイレクトボタン]

初回起動時は、ダイレクトボタンの説明が表示されます。内容を確認し「OK」をタップしてください。

2 アプリを選択→[OK]

memo

- ◎ 以下の状態の場合は、ダイレクトボタンの動作は無効となります。
 - ・スタート画面
 - ・ソフトウェアアップデート中
 - ・緊急通報時の折り返しモード中
 - ・電話着信中
- ◎ ダイレクトボタンに設定していたアプリをアンインストールした場合、ダイレクトボタンは未設定状態になります。

ストレージに関する設定をする

1 設定メニュー→[ストレージ]

2	内部ストレージ	内部ストレージの使用量を確認します。
	合計容量	内部ストレージの容量を確認します。
	SDカード	microSDメモリーカードの使用量を確認します。
	合計容量	microSDメモリーカードの容量を確認します。
	SDカードをマウント	microSDメモリーカードを認識します。
	SDカードのマウント解除	microSDメモリーカードの認識を解除して、microSDメモリーカードを安全に取り外します。
	SDカード内データを消去	▶P.75「microSDメモリーカードを初期化する」

※表示される項目は、端末の状態によって異なります。

電池使用量を表示する

1 設定メニュー→[電池]

電池残量、充電状況や電池使用時間などが表示されます。

位置情報の設定をする

1 設定メニュー→[位置情報]→[位置情報]を[ON]にする

2 「位置情報の承諾」で内容確認の上、[同意]

3 「位置情報についての同意」画面で[同意しない]／[同意する] 「同意する」をタップすると、位置情報の取得モードが「高精度」になります。

4	モード	位置情報の取得モードを設定します。
	最近の位置情報リクエスト	位置情報を取得したアプリを表示します。 ・アプリをタップするとアプリ情報を表示します。
	位置情報サービス	Googleアカウントを設定している場合に、Googleの位置情報サービスを利用するかどうかを設定したり、ロケーション履歴を管理したりします。

memo

GPS機能の使用について

- ◎ 電池の消費を節約する場合は、オフに設定してください。
- ◎ 周囲に建物などがなく、天空が見える場所では精度が高くなります。周囲の環境により、正しい位置情報が取得できない場合は、天空が見える場所へ移動してください。

スタート画面の設定をする

スタート画面でのセキュリティの解除の方法などを設定します。

1 設定メニュー→[スタート画面]

2	セキュリティの種類	なし	セキュリティを無効にします。
		スライド	アイコンをスライドして、セキュリティを解除します。
		フェイスアンロック	顔認証でセキュリティを解除します。
		パターン	解除パターンを入力して、セキュリティを解除します。
		PIN	PINを入力して、セキュリティを解除します。
		パスワード	4～16桁の英数字／記号を入力して、セキュリティを解除します。
	顔認識の精度を改善	いろいろな状態の顔を登録することで、顔認識の精度を改善することができます。	
	生体検知	顔認識で写真などが認識されないようにすることができます。	
	パターンを表示する	セキュリティを解除するときに指の軌跡を線で表示するかどうかを設定します。	
	自動ロック	スリープモード移行後、「セキュリティの種類」で設定した解除方法が必要になるまでの時間を設定します。	
	電源ボタンですぐにロックする	「自動ロック」の設定にかかわらず、を押してスリープモードに移行した場合に、すぐにスタート画面を表示するかどうかを設定します。	
	所有者情報	スタート画面に表示する所有者の情報を設定します。	

※表示される項目は、「セキュリティの種類」の設定により異なります。

セキュリティをかける

スタート画面のセキュリティの解除方法を「なし」以外に設定している場合、画面のバックライト点灯中にを押す、または自動的に画面のバックライトが消灯すると、セキュリティがかかります。
ただし、セキュリティの解除方法が「フェイスアンロック」「パターン」「PIN」「パスワード」の場合、「電源ボタンですぐにロックする」をオフにすると、を押してもセキュリティはかかりません。

セキュリティを解除する

1 スタート画面で現在のセキュリティ解除方法を実行する

セキュリティ解除を5回続けて失敗した場合は、画面の指示に従って再試行してください。

memo

- ◎ スタート画面のセキュリティを解除していない状態で「緊急通報」をタップして、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)への電話はかけられます。
- ◎ セキュリティ解除パターン／PIN／パスワードを5回続けて失敗した場合は、正しく指定されていない旨のメッセージが表示されます。「OK」をタップして30秒後に再試行できます。

セキュリティの設定をする

1 設定メニュー→[セキュリティ]

セキュリティメニューが表示されます。

2 UIMカードロック設定	▶P.85「UIMカードロックを設定する」
パスワードを表示する	パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
端末管理者	端末管理者の情報を表示します。
提供元不明のアプリ	▶P.64「提供元不明のアプリのダウンロード」
アプリを確認する	ウイルスなどの損害を受ける可能性のあるアプリのインストールを禁止したり、警告表示します。
ストレージのタイプ	ストレージのタイプを確認できます。
信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。
SDカードからインストール	暗号化された証明書をmicroSDメモリカードからインストールします。
認証ストレージの消去	認証情報ストレージのすべてのコンテンツをクリアして、パスワードをリセットします。

※表示される項目は、設定によって異なります。

UIMカードロックを設定する

UIMカードにPINコード(暗証番号)を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」(▶P.11)をご参照ください。

1 セキュリティメニュー→[UIMカードロック設定]→[UIMカードロック]を選択

2 UIMカードのPINコードを入力→[OK]

電源を入れたときにPINコードを入力する

1 PINコードの入力画面→PINコードを入力→[OK]

PINコードを変更する

UIMカードロックが有効に設定されているときのみ変更できます。

1 セキュリティメニュー→[UIMカードロック設定]→[PINコードの変更]

2 現在のPINコードを入力→[OK]

3 新しいPINコードを入力→[OK]

4 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

言語と入力に関する設定をする

1 設定メニュー→[言語と入力]

2 言語	日本語と英語の表示を切り替えます。 ・起動中のアプリが終了する場合があります。
デフォルト	デフォルトのキーボードを設定します。
iWnn IME	▶P.27「iWnn IMEの設定を行う」
Google音声入力	音声入力の言語や不適切な語句に関する設定をします。
音声検索	音声認識アプリの設定画面が表示されます。
テキスト読み上げの出力	Pico TTS テキストを読み上げる言語を設定することができます。 Google Playから標準装備以外の言語に対応した音声データをインストールすることができます。 音声の速度 テキストを読み上げる速度を設定します。 サンプルを再生 音声合成の短いサンプルを再生します。 デフォルトの言語のステータス 表示言語のサポート情報を確認できます。
ポインタの速度	ポインティングデバイス使用時の、ポインタの反応速度を設定します。

※表示される項目は、画面によって異なります。

memo

- テキスト読み上げを利用する場合は、あらかじめ音声合成エンジンをインストールする必要があります。また、テキスト読み上げは「言語」が「日本語」の場合には利用できないことがあります。
- microSDメモリカードに音声データをインストールした状態で、ソフトウェアアップデートなどのソフトウェアの更新を実行すると、テキスト読み上げの動作が不安定になる場合があります。ソフトウェアの更新を実行した場合は、microSDメモリカードにインストールされている音声データを削除し、再度音声データのインストールを行ってください。

バックアップとリセット

1 設定メニュー→[バックアップとリセット]

2 データのバックアップ	アプリのデータや設定などをGoogleサーバーにバックアップするかどうかを設定します。
バックアップアカウント	Googleサーバーにバックアップするアカウントを設定します。
自動復元	アプリの再インストール時に、バックアップ済みのデータや設定を復元するように設定します。
データの初期化	▶P.85「本製品を初期化する」

本製品を初期化する

1 設定メニュー→[バックアップとリセット]→[データの初期化]

2 [携帯端末をリセット]→[OK]→[すべて消去]

- ・スタート画面の設定によっては、セキュリティ解除が必要な場合があります。

memo

- データの初期化を実行すると本体内のすべてのデータが消去されます。データの初期化を実行する前に本体内のデータをバックアップすることをおすすめします。
- 「SDカード内データを消去」を選択するとmicroSDメモリカード内のデータを消去できます。
- すべての設定メニューの以下の項目は、データの初期化を実行してもリセットされません。
 - ・ UIMカードロック設定
 - ・ 「NFC / おサイフケータイロック」の設定 / ロックNo.
- 本製品を初期化すると、デジタル著作権管理(DRM)コンテンツのライセンス情報が削除され、コンテンツの再生ができなくなる場合があります。
- プリセットされているアプリの一部は削除されます(▶P.23)。

アカウントの設定をする

本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

- ・ 同期するには、本製品でGoogleアカウントなどのオンラインサービスのアカウントを設定する必要があります。手動で同期するか、または自動同期するように設定できます。

アカウントを追加／削除する

アカウントを追加する

1 設定メニュー→[アカウントを追加]

2 追加するアカウントの種別を選択

3 画面の指示に従って操作

アカウントを削除する

1 設定メニュー→削除するアカウントの種別を選択→削除するアカウントを選択→[:]

2 [アカウントを削除]→[アカウントを削除]

memo

- 他のアプリで使用されているアカウントは削除できません。削除するには、「データの初期化」(▶P.85)が必要です。

日付と時刻の設定をする

1 設定メニュー→[日付と時刻]

2	日付と時刻の自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って、自動的に補正します。
	タイムゾーンの自動設定	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って、自動的に補正します。
	日付設定	▶P.86「日付を設定する」
	時刻設定	▶P.86「時刻を設定する」
	タイムゾーンを選択	タイムゾーンを選択します。
	24時間表示	選択すると24時間表示、解除すると12時間表示となります。 ※アプリによっては、対応されない場合があります。
	日付形式の選択	日付の表示形式を選択します。



- 「日付と時刻の自動設定」を選択するとネットワークから日付や時刻が自動で設定されます。お買い上げ時は「日付と時刻の自動設定」に設定されています。
- 日付、時刻、タイムゾーンの手動設定をするには、あらかじめ「日付と時刻の自動設定」「タイムゾーンの自動設定」を解除する必要があります。
- 海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。設定メニュー→[日付と時刻]→[タイムゾーンの選択]→設定するタイムゾーンを選択、と操作して、タイムゾーンを設定することができます。

日付を設定する

1 設定メニュー→[日付と時刻]→[日付設定]

2 数字を上下にスライドして日付を合わせる

3 [設定]

時刻を設定する

1 設定メニュー→[日付と時刻]→[時刻設定]

2 数字を上下にスライドして時間と分を合わせる

「24時間表示」を解除している場合は、「午前」/「午後」をスライドして切り替えます。

3 [設定]

ユーザー補助の設定をする

1 設定メニュー→[ユーザー補助]

2	サービス	インストールされているサービス名を表示します。
	字幕	字幕表示に対応したアプリ使用時に、字幕を表示するかどうかを設定します。
	拡大操作	トリプルタップで拡大／縮小表示をするかどうかを設定します。
	大きい文字サイズ	文字サイズが大きくなります。
	電源ボタンで通話を終了	☎で通話を終了するかどうかを設定します。
	画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
	パスワードの音声出力	パスワードを音声で出力するか設定します。
	ユーザー補助のショートカット	ユーザー補助機能をスタート画面でできるように設定します。
	テキスト読み上げの出力	▶P.85「言語と入力に関する設定をする」
	押し続ける時間	ロングタッチの時間を設定します。

ユーザー補助プラグインを利用する

ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助プラグインを有効にします。ユーザー補助のプラグインは、Google Playからインストールすることができます。



- TalkBackをインストール後、初めてTalkBackをオンにしたときは、タッチガイド機能をオンにするかどうかのメッセージが表示されます。タッチガイド機能とは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示することができる機能です。タッチガイド機能をオンにすると、通常の操作とは異なった方法で本製品の操作ができます。項目を選択する場合は、一度タップしてからダブルタップをし、スライドをする場合は、2本の指で画面上を目的の方向へなぞります。タッチガイド機能のみをオフにする場合は、設定メニュー→[ユーザー補助]→[TalkBack]→[設定]と操作し、「タッチガイド」を解除します。

印刷に関する設定をする

Googleクラウドプリントを利用したプリンタの設定を行います。

- ・印刷の利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。

1 設定メニュー→[印刷]

2 [クラウド プリント]→[クラウド プリント]を「ON」にする→[OK]

使用できるプリンタの一覧が表示されます。

- ・「」をタップすると、プリンタの追加や設定を変更できます。

端末情報に関する設定をする

本製品のバージョンなどの情報を確認します。また、アップデートやセンサーの補正などを行います。

1 設定メニュー→[端末情報]

2	ソフトウェアアップデート	▶P.99「ソフトウェアやOSを更新する」
	端末の状態	電池残量や電話番号などの、端末の状態を確認できます。
	法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。
	モデル番号	バージョンや各番号を確認できます。
	Androidバージョン	
	カーネルバージョン	
	ビルド番号	
	認証情報	

auのネットワークサービス・海外利用

auのネットワークサービスを利用する	88
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)	88
着信転送サービスを利用する(標準サービス)	88
割込通話サービスを利用する(標準サービス)	89
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)	90
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)	90
呼び出し時間を変更する(標準サービス)	90
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)	90
三者通話サービスを利用する(オプションサービス)	92
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)	92
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)	93
グローバルパスポート	93
GLOBAL PASSPORT(グローバルパスポート)について	93
海外でご利用になるときは	93
海外で安心してご利用いただくために	94
海外利用に関する設定を行う	94
渡航先で電話をかける	94
渡航先で電話を受ける	94
お問い合わせ方法	94
サービスエリアと海外での通話料	95
国際アクセス番号&国番号一覧	95
グローバルパスポートに関するご利用上の注意	96

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

	サービス	参照先
標準サービス	SMS	P.47
	着信お知らせサービス	P.88
	着信転送サービス	P.88
	割込通話サービス	P.89
	発信番号表示サービス	P.90
	番号通知リクエストサービス	P.90
有料オプションサービス*	呼び出し時間設定機能	P.90
	お留守番サービスEX	P.90
	三者通話サービス	P.92
	迷惑電話撃退サービス	P.92
	通話明細分計サービス	P.93

* 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ(<http://www.au.kddi.com/>)でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)

着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、au電話の電源を切っていた場合や機内モードの場合、または電波が届かない場所にいた場合、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。電話をかけてきた相手の方が伝言を残さず電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

- 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合にはお知らせしません。
- お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
- 着信があったから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
- ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.90)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
- 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送の4つから選択できます。

memo

- 緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)、天気予報(177)など一般に転送先として望ましくないとされる番号には転送できません。
- 着信転送サービスとお留守番サービス(▶P.90)は同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
- 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.90)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
- 無応答転送、話中転送、選択転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
 - ① 話中転送 ② 選択転送 ③ 無応答転送
- 無応答転送、話中転送、選択転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。

ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始 「1422」～「1425」	無料
サービス停止 「1420」	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ※ 電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ※ お客様のご負担となります。 ※ 海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する(無応答転送)

電波が届かない場所にいるときや、電源が切つてあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 ホーム画面→[電話]→[1][4][2][2]+転送先電話番号を入力→[発信]

ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]→[転送電話]→[無応答転送]→[OK]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できません。

2 [通話終了]

memo

- 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面→[電話]→[1][4][2][1][2]→[発信]と操作して設定できます。
- 着信転送サービスの応答時間は変更できません。
- 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。
- GSM/UMTSローミング中は、電波が届かない場所にいるときや、電源が切つてあるときのみ転送されます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

1 ホーム画面→[電話]→[1][4][2][3]+転送先電話番号を入力→[発信]

ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]→[転送電話]→[話中転送]→[OK]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できません。

2 [通話終了]

memo

- 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面→[電話]→[1][4][2][1][3]→[発信]と操作して設定できます。
- 話中転送と割込通話サービス(▶P.89)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。
- GSM/UMTSローミング中は、話中転送はご利用になれません。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

1 ホーム画面→[電話]→[1][4][2][4]+転送先電話番号を入力→[発信]

ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]→[転送電話]→[フル転送]→[OK]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できません。

2 [通話終了]

memo

- 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面→[電話]→[1][4][2][1][4]→[発信]と操作して設定できます。
- フル転送を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

手動で転送する(選択転送)

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で転送します。

1 ホーム画面→[電話]→[1][4][2][5]+転送先電話番号を入力→[発信]

ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]→[転送電話]→[選択転送]→[OK]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できません。

2 [通話終了]

memo

- 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面→[電話]→[1][4][2][1][5]→[発信]と操作して設定できます。
- 着信中に転送操作をすると、転送先電話番号に転送します。
- 国際ローミング中はご利用になれません。

海外の電話へ転送する

au国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。

例：アメリカの「212-123-XXXX」に転送する場合

1 ホーム画面→[電話]→転送の種類によって、それぞれの番号を入力→[発信]

- [1][4][2]: 無応答転送 [1][4][2][4]: フル転送
- [1][4][2][3]: 話中転送 [1][4][2][5]: 選択転送

2 転送先電話番号を入力

転送先電話番号を国際アクセスコードから入力します。

国際アクセスコード	→	国番号 (アメリカ)	→	市外局番	→	転送先電話番号
001010		1		212		123XXXX

※市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリア・モスクワの固定電話など一部例外もあります)。

3 [通話終了]



○ au国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する(転送停止)

着信転送サービスを停止します。

1 ホーム画面→[電話]→[1][4][2][0]→[発信]

ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]→[転送電話]→[転送停止]→[OK]と操作しても設定できます。

2 [通話終了]

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様の本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始(無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送)、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
選択転送開始	1425
転送停止	1420

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.11)をご参照ください。

4 ガイドンスに従って操作



- 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する(標準サービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。



- 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau Nano IC Card (LTE)を差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。

ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかりません)

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面→[電話]→[1][4][5][1]→[発信]

2 [通話終了]



- 割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.90)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.92)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- 国際ローミング中はご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 ホーム画面→[電話]→[1][4][5][0]→[発信]

2 [通話終了]



- 4G/パケット通信中や、3G/パケット通信中は、割込通話サービスを「停止」に設定しても着信します。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

例：Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 着信中に「㊟」から「㊟」まで右にスライド

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
「切り替え」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。
「通話終了」をタップすると、通話中/保留中の両方の通話が終了します。



- 通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手の方との通話に切り替わります。
- 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知/非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 ホーム画面→[電話]→[1][4][5][2]+相手先電話番号を入力→[発信]



- 発信者番号を通知する/しないを設定する場合は、「186」「184」を最初にダイヤルしてください。
- 割込禁止の通話中に別の相手の方から電話があった場合は、お話し中になりません。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。